

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7722 URL http://www.kokusaikk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 繁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,866	3.8	△71	—	△47	—	△69	—
25年3月期第1四半期	1,798	8.1	△118	—	△166	—	△120	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 47百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △185百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△4.98	—
25年3月期第1四半期	△8.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第1四半期	14,866	—	6,794	—	45.4
25年3月期	14,351	—	6,956	—	48.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 6,752百万円 25年3月期 6,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,700	3.7	600	205.5	590	480.4	360	546.9	25.69
通期	11,500	9.4	2,000	33.2	2,000	29.3	1,200	38.2	85.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	14,200,000株	25年3月期	14,200,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	184,556株	25年3月期	184,556株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	14,015,444株	25年3月期1Q	14,015,461株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府によるデフレ脱却や経済成長の促進を図る政策への期待感から円安・株高が進行し、輸出企業を中心に受注や採算の改善がみられるなど、企業収益や個人消費の一部に回復傾向がみられました。しかしながら、海外経済の減速懸念や円安による輸入品価格の上昇など、国内景気の押し下げリスク要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境は、主力ユーザーである国内自動車関連業界は円安・株高を背景として、輸出比率の高い大手メーカーを中心に回復の兆しが窺がえるものの、円安効果による大手メーカーの輸出拡大を背景とした設備投資需要まで繋がっていないなど、期待する景気回復にはもう暫く時間を要するものと思われまます。

このような環境のもと、当社グループは、前連結会計年度に引き続き堅調に推移している中国・東南アジアの自動車・タイヤメーカーの設備投資情報を的確に把握し、積極的な営業活動を展開して受注実績に結び付けてまいりました。また、研究開発用の電気サーボモータ式振動試験機の営業にも注力いたしましたが、当第1四半期連結累計期間においては、主力の生産ライン用タイヤ関連試験機を中心に52億4千3百万円と目標を大幅に上回る受注を獲得いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、18億6千6百万円（前年同四半期比3.8%増）、営業損失は7千1百万円（前年同四半期は1億1千8百万円の損失）、経常損失は4千7百万円（前年同四半期は1億6千6百万円の損失）、四半期純損失は6千9百万円（前年同四半期は1億2千0百万円の損失）となりました。

売上高につきましては、中国のタイヤメーカーへの生産ライン用タイヤ関連試験機が増加しており、前年同四半期と比較して増加しております。また、当社グループは、第2四半期・第4四半期に製品の完成検収が集中する傾向が強いことから、予定通りの進捗度となりました。

利益面につきましては、第三工場の竣工に伴う費用や国内連結子会社である東伸工業株式会社の本社第三工場への移転に伴う費用の発生により販売費及び一般管理費が増加したものの、円安ドル高等による原価率の改善により損失が減少いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国をはじめとするアジアの中堅タイヤメーカー向け生産ライン用タイヤ関連試験機が予算を大幅に上回る受注を獲得いたしました。売上高は同タイヤ関連試験機を中心として16億5千9百万円（前年同四半期比12.7%増）、セグメント利益（経常利益）は3億8千2百万円（前年同四半期比335.6%増）となりました。

〔日本（東伸工業株式会社）〕

予定通り5月初旬に本社第三工場への移転を完了し、6月以降新工場での本格的な稼働を開始しております。当第1四半期連結累計期間は、主力製品である金属材料の高温強度試験装置を中心に受注及び売上が増加しております。その結果、売上高は1億1千4百万円（前年同四半期比144.0%増）、セグメント損失（経常損失）は5千3百万円（前年同四半期は6千7百万円の損失）となりました。

〔米国〕

自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注は前連結会計年度に引き続き堅調に推移しておりますが、大型案件の納入は第2四半期以降を予定しております。その結果、売上高は1億3千3百万円（前年同四半期比44.1%減）、セグメント損失（経常損失）は6千4百万円（前年同四半期は4千8百万円の利益）となりました。

〔韓国〕

当第1四半期連結累計期間に入り自動車及びタイヤ関連メーカーからの受注は堅調に推移しております。その結果、売上高は3億5千8百万円（前年同四半期比31.4%増）、セグメント利益（経常利益）は7千1百万円（前年同四半期比50.6%増）となりました。

〔中国〕

中堅タイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機の受注は堅調に推移しております。その結果、売上高は1億4千0百万円（前年同四半期比33.6%増）、セグメント損失（経常損失）は7百万円（前年同四半期は7百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、93億5千9百万円（前連結会計年度末比1億6千5百万円増）となりました。これは、売上債権が回収されたことにより受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比6億6千5百万円減）したものの、受注残高の増加により仕掛品が増加（前連結会計年度末比5億4千1百万円増）したことが主たる要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、55億6百万円（前連結会計年度末比3億4千9百万円増）となりました。これは、本社第三工場の竣工により建設仮勘定が減少（前連結会計年度末比6億3千9百万円減）したものの、建物及び構築物が増加（前連結会計年度末比9億8千4百万円増）したことが主たる要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、56億2千5百万円（前連結会計年度末比3億8千9百万円増）となりました。これは、法人税等を納付したことにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比4億3千7百万円減）したものの、運転資金を調達したことにより短期借入金が増加（前連結会計年度末比3億1千万円増）したことや受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比2億4千8百万円増）したことが主たる要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、24億4千6百万円（前連結会計年度末比2億8千8百万円増）となりました。これは、設備投資資金及び長期運転資金を調達したことにより長期借入金が増加（前連結会計年度末比2億7千3百万円増）したことが主たる要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、67億9千4百万円（前連結会計年度末比1億6千2百万円減）となりました。これは、円安ドル高等の影響により連結子会社の為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比1億1千3百万円増）したものの、期末配当を実施したことにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比2億8千0百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

例年、第2四半期及び第4四半期に製品の完成出荷が集中する傾向が強いことから、平成25年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,992,260	3,016,176
受取手形及び売掛金	3,850,738	3,185,235
商品及び製品	147,384	201,829
仕掛品	1,352,038	1,893,891
原材料及び貯蔵品	472,001	527,411
繰延税金資産	245,985	303,888
その他	141,606	239,118
貸倒引当金	△7,777	△8,007
流動資産合計	9,194,238	9,359,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,454,068	2,438,598
機械装置及び運搬具	182,249	211,830
土地	1,675,179	1,675,820
リース資産	3,187	3,036
建設仮勘定	661,765	22,254
その他	130,978	138,925
減価償却累計額	△1,082,671	△1,105,112
有形固定資産合計	3,024,757	3,385,353
無形固定資産		
リース資産	2,651	2,392
その他	57,662	58,297
無形固定資産合計	60,313	60,690
投資その他の資産		
投資有価証券	215,985	209,501
長期貸付金	33,131	33,574
繰延税金資産	759	—
保険積立金	1,653,388	1,662,599
その他	212,191	199,100
貸倒引当金	△43,325	△44,299
投資その他の資産合計	2,072,131	2,060,476
固定資産合計	5,157,202	5,506,519
資産合計	14,351,441	14,866,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,876,686	2,026,986
短期借入金	740,000	1,050,000
1年内返済予定の長期借入金	766,990	757,892
リース債務	1,195	1,195
未払法人税等	558,256	121,057
賞与引当金	113,308	201,586
製品保証引当金	200,578	208,518
前受金	634,058	882,685
その他	344,992	375,340
流動負債合計	5,236,066	5,625,262
固定負債		
長期借入金	1,616,608	1,889,980
リース債務	4,484	4,185
繰延税金負債	192,154	177,089
退職給付引当金	197,806	219,177
役員退職慰労引当金	143,023	145,423
資産除去債務	4,336	10,603
固定負債合計	2,158,412	2,446,459
負債合計	7,394,479	8,071,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	5,447,928	5,167,860
自己株式	△150,957	△150,957
株主資本合計	7,256,470	6,976,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,384	57,913
為替換算調整勘定	△395,063	△281,430
その他の包括利益累計額合計	△335,679	△223,516
少数株主持分	36,170	41,455
純資産合計	6,956,962	6,794,342
負債純資産合計	14,351,441	14,866,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,798,019	1,866,178
売上原価	1,235,613	1,223,283
売上総利益	562,405	642,894
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	55,556	76,394
貸倒引当金繰入額	—	5,452
役員報酬	41,595	41,835
給料手当及び賞与	127,874	146,950
賞与引当金繰入額	32,474	35,229
退職給付費用	13,033	13,036
役員退職慰労引当金繰入額	2,400	2,400
運賃	75,059	73,005
減価償却費	5,820	8,706
研究開発費	2,188	4,084
その他	324,791	307,167
販売費及び一般管理費合計	680,793	714,262
営業損失(△)	△118,387	△71,368
営業外収益		
受取利息及び配当金	14,096	10,383
為替差益	—	27,072
その他	8,795	15,662
営業外収益合計	22,892	53,118
営業外費用		
支払利息	6,574	7,752
持分法による投資損失	5,997	5,562
売上債権売却損	2,863	2,252
為替差損	48,492	—
保険解約損	—	8,330
その他	6,775	5,783
営業外費用合計	70,703	29,682
経常損失(△)	△166,198	△47,931
特別損失		
固定資産除却損	118	155
特別損失合計	118	155
税金等調整前四半期純損失(△)	△166,317	△48,086
法人税、住民税及び事業税	42,518	91,532
法人税等調整額	△91,457	△70,099
法人税等合計	△48,939	21,432
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△117,377	△69,519
少数株主利益	3,099	316
四半期純損失(△)	△120,476	△69,835

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△117,377	△69,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,313	△1,470
為替換算調整勘定	△52,398	117,277
持分法適用会社に対する持分相当額	654	1,323
その他の包括利益合計	△68,057	117,130
四半期包括利益	△185,434	47,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△191,348	42,326
少数株主に係る四半期包括利益	5,914	5,284

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	1,304,521	46,310	238,315	98,206	86,362	1,773,716	24,302	1,798,019
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	168,568	677	168	174,255	18,803	362,473	9,022	371,495
計	1,473,089	46,988	238,484	272,462	105,165	2,136,189	33,325	2,169,515
セグメント利益 又は損失(△)	87,776	△67,521	48,613	47,560	△7,955	108,472	△844	107,628

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	108,472
「その他」の区分の利益	△844
セグメント間取引消去等(注)	△273,826
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△166,198

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が235,110千円含まれております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	1,375,115	114,641	133,419	149,742	89,018	1,861,936	4,241	1,866,178
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	284,830	—	—	208,270	51,478	544,578	7,817	552,396
計	1,659,945	114,641	133,419	358,012	140,496	2,406,515	12,059	2,418,574
セグメント利益 又は損失(△)	382,343	△53,481	△64,043	71,613	△7,088	329,344	△982	328,362

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	329,344
「その他」の区分の利益	△982
セグメント間取引消去等(注)	△376,293
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△47,931

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が286,905千円含まれております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	1,437,842	+1.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	7,600	△92.5	日本(国際)
材料試験機	114,641	+144.0	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	185,201	+37.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	120,896	+16.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	1,866,180	+3.7	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,052,842	+170.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	499,104	△22.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	200,589	+50.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	282,952	+42.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	208,286	+36.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,243,774	+99.3	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第1四半期連結累計期間末(平成25年6月30日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	7,069,498	+68.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,010,942	+33.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	364,160	+147.7	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	703,186	△9.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	109,944	+23.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	10,257,731	+52.5	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスングマシン	1,437,840	+1.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	7,599	△92.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	114,641	+144.0	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	185,200	+37.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	120,896	+16.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	1,866,178	+3.8	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。